

令和元年度北海道男女平等参画チャレンジ賞贈呈式

受賞者および知事コメント要旨

日時：令和2年（2020年）2月14日（金）

16時00分～16時30分

場所：北海道庁本庁舎3階 知事会議室

沼口奈美子さん

私の活動ですが、介護の仕事をする一番の大きなきっかけになったのは、同居する祖母の介護施設への入居でした。そこで働いていた介護士さんとの出会いがきっかけで、介護のイメージがすごく変わりました。祖母に対しても、私たち家族に対しても、いつも寄り添った対応をしてくださり、祖母の誕生日会では涙を流してくれたり、入院した時にはわざわざ病院に来てくださったり、優しく、そして何よりも寄り添ってくれるというところが私の感情を揺さぶったんですね。そういった場面を目にする度に、いつしか私も介護の仕事をしたいと自然と思うようになりました。ホームヘルパー2級という介護の資格を取得しまして、すぐ介護現場で働き始めました。それが10年くらい前なんですけど、日々高齢者とふれ合って、今も会社ですっと仕事をさせてもらっています。祖母にしてくれた介護士さんの対応がすごく印象的だったので、その介護士さんを目指して今日までやってきました。祖母が亡くなり、その介護士さんと会うこともなくなった数年後、新聞のおくやみ欄でその介護士さんが亡くなっているということを知りまして、お通夜にも行ったのですが、あまりに突然のことにショックだったんですね。私がかその時誓ったことは、絶対に介護士を辞めずにその人の意思を継ぎたいということでした。その思いをずっと今まで持ち続けて、現場でせっかく経験したことを色んな方に伝えていきたいという思いがあったので、研修センターに異動しまして、介護のイメージアップということで、格好から変えていったのですが、今日のような白い眼鏡、蝶ネクタイ、柄のシャツで講師として働き始めたんですね。介護予防センターの管理者として、受講生を集めたり、カリキュラムを組み立てたり、実際に講師をしたり、というのが本業になります。実際に受講生からは「介護のイメージが変わった。」とか、「仕事を楽しめるようになった。」など、お声を頂けるようになりました。また、それと並行しまして、帯広市から委託を受けて、介護予防事業という高齢者向けの体操も福祉センターなどでさせていただくほか、地域づくりとして生活支援コーディネーター、住みやすいまちづくりをするお仕事も兼務でさせていただいています。住民同士の横のつながりを作るところが私の今一番やっていることです。そのほかに、仕事とは別なんですけれども、私、沼口というので、「ぬまっち」と呼ばれているのですが、「ぬまっちの健康体操」という講座をしたり、笑いヨガの資格もあるのでそれを活かした講座、講演会、専門学校でこれから介護士を目指される学生さんの授業や、FMラジオのパーソナ

リティ、最近は講演会の盛り上げの前座、イベントの司会とか、仕事は断らないようにしているので、一人でも多くの方に笑っていただいたり、元気を届けるべく、日々活動しております。今後は住み慣れた地域で安心して暮らせるような地域づくりをすすめていきたいと思っています。また、誰でも気軽に立ち寄れるような居場所を地域の中に入れていきたいと思っています。これからも、沢山の方に元気と笑いを届けるのが自分の使命だと思い、活動させていただきたいです。

大友彩加さん

改めまして、営業部女子課の会北海道支局代表の、大友彩加と申します。営業部女子課の会というのは、全国にある団体なんですけれども、今、全国では約3,800人の営業の女性の仲間たちがいます。私はその中の北海道の代表をやらせていただいているのですが、北海道の中では仲間はだいたい100人前後くらいいます。

私が営業部女子課の会に出会い、代表をしたいと思ったきっかけですが、私自身は今、鉄鋼業界の営業マンとして働いています。今は育児休業中なので、お仕事の現場としては1年弱離れている状態なんですけれども、鉄鋼業界といいますと、男性が9割以上の業界ですので、女性の営業職は私しかいないという状態でした。それを入社した22歳の時に経験したので、お客さんにどうアプローチをしたらいいのか、ファッションひとつ取っても、男性がたくさんいる中で、全く同じことをしなければいけないのかという部分で、自分の中で悩んでいたのがきっかけで、それを突破するため、解決するためにたまたま出会ったのが営業部女子課という存在でした。

私の悩んでいることの解決方法が沢山営業部女子課の本に書いてあったり、インターネット上に出ていまして、ただ、勉強会が東京でしか開催されていなかったんですね。なので、ぜひ私はこういった紙面とかホームページ上で元気をもらった団体を北海道に持ってきたい、そんな思いで、ちょうど入社6年目くらいの時に北海道で初めての勉強会を開催しました。

そうすると、私のように会社の中だけで悩んでいるような方も沢山集まりましたし、そのほかにも、そういった女性を支援したいというキャリアカウンセラーの方や、あとは男女共同参画センターの第3セクターの方など、色々な方たちと、長く営業職として働きたいという人たちや、その方たちを支援したいという人達の輪を作ることが出来ました。私も、この会に出会っていなかったら、約10年間営業職として働くことはできなかったと思っているので、代表はしているんですが、いちばんの営業部女子課のファンの一人として活動しています。

子どもを昨年6月に産んでから、それを機に旭川に引っ越しました。それまでは長年札幌に住んでいて、勉強会をずっと開催していたので、旭川ではこれから開拓をする段階なのです。一度旭川で勉強会を開催してみて札幌と旭川の違いがわかったので、これをきっかけに、全道に悩んでいる女性たちが沢山いると思うので、まずは旭川の勉強会を

定期的にやりながら、全道で営業職の仲間たちを作っていきたいと思っています。

鈴木知事

沼口さんの場合は尊敬する介護士の方、残念ながらお亡くなりになったけれども、ご自身がその介護士の方から受けたことをまた次に繋ごうという話は、まさに大友さんのご自身で経験されて仲間の輪を作るというところと同じで、私は冒頭の挨拶で、「今後とも」と申し上げましたけれども、既に皆さんが長く活動をやってこられて、お二人の存在がなかったら、その道に進んでいなかった方々がどんどん増えていき、またその方々が、お二人と同じようにお感じになって、また次のバトンを渡していくというような形で（輪をつくっている）。最初に一歩踏み出す人がいちばん大変だし、苦労もするし、道を作るっていうんですかね、そういうところだと思うので、お二人の今後の活躍もそうですし、お二人と関わった仲間、笑顔を共にした人たちがまた更にその輪を作っ
て頂けるような姿を明確に思い浮かべることができて、すごく嬉しい、楽しい時間を今日、受賞式の間過ごさせて頂きました。ありがとうございました。